

平成 20 年度都道府県別原料血漿確保目標量 (案) について

計算の考え方

1. 平成 17 年の国勢調査結果による都道府県別の人口から目標量を計算
(試算 1)
 - (1) 昼間人口比率により、平成 20 年度の原料血漿確保目標量の半数 (50.0 万リットル) を按分で割当て
 - (2) 献血可能人口 (16 歳～69 歳) 比率により、同目標量の半数 (50.0 万リットル) を按分で割当て
 - (3) 上記の合計を目標量とする。

2. 平成 19 年度の目標量に 20 年度目標量の伸び率を乗じて目標量とする
(試算 2)

20 年度の伸び率
 $100 \text{ 万 L} / 97 \text{ 万 L} = 103.09\%$

3. 試算 1 の計算結果を基準に、試算 2 の計算結果を調整し、都道府県別の目標量とする。
試算 1 による計算結果の 96% 以上 105% 以内での調整とした。